

ストップ地球温暖化！
 藤本工務店は地球環境を
 守る活動『チャレンジ25』に
 協賛登録しています。

わいわいくらぶ



社長のひとりごと…

『わいわいくらぶ』は、当社の大切なお客様のために、私たち藤本工務店のスタッフが手づくりでお送りしているコミュニティー誌です。

『空中戦のお宅には・・・』



私は元来、気が短い方である。そんな性格だと自覚していることもあってか、普段は自粛気味で温和な感じであるが、ある時、家内の「うざい」というちょっとした一言にカチーンときて、つい短気な面が出てしまった。

それはグルメ番組で、カツオのタタキを紹介してる番組を見ている時のこと。私が思わず「カツオ食いたい！」と言った後に、すかさず家内が「うざい」という合づち。思わずカチーンと血がのぼってしまった。こんな会話って、一般家庭であれば日常茶飯事なんでしょうが（ケンカするほど仲がいいって言うもんね！？）、その時の私は余程ストレスが溜まっていたのか、意味不明にプツッと切れてしまった。2秒後には無意識に近くにあったテレビのリモコンを掴み、壁に投げる動作に入っているのではないかと。「これはまずい！止めなければ！」と頭の片隅では分かっているものの、この怒りのはけ口は、もはや罪もない”リモコン”に向けられてしまっている。ヒートアップした頭で考えられることは、”当てる場所の選定”ぐらいである。幸いにして我が家の居間は腰板を貼っていた為、壁は壊れずギリギリセーフ。罪もない”リモコン君”も意外にも無傷であった。

しかし、あまりにも何も壊れなかったため、ヒートアップした感情がなかなか収まらない。よせばいいのに、次の瞬間には、これまた近くにあった罪もない”プラスチックのコップ”を投げてしまっていた。このコップは見事に粉碎。若干スカッとしたが、冷静になったら、”何やってんだか”って気持ちと恥ずかしさが込み上げてきた。罪もない”コップ君”の破片をしぶしぶかき集めるのは、自分自身であることは言うまでもない。いや～、年甲斐もなく恥ずかしい限りです。ちなみに当社には、腰板貼りが標準仕様の商品があるが、夫婦喧嘩でコップや茶碗がわんさか空中を飛び交うお宅にはもってこいの商品である（笑）

ここで話は変わって、富山に出張した時の事。春休みともあって家族連れも多く、電車は込みあっていた。福井駅でも多くの乗客が乗り込んで来たが、その中に小学5年生と3年生位の兄弟が一組。お兄ちゃんが車内を先頭に向かって流れのままに進んでいるが、後ろの弟は指定席の番号をキョロキョロ見ながら必死に探している様子である。弟が「兄ちゃん！この先行くと番号減るばかりやで行き過ぎや！」と声を掛けると、お兄ちゃんは無表情で立ち止り後もどりしようとする。今度は先に立った弟が、前からどんどん押し寄せて来るお客さんに「すいません。すいません。」と頭を下げ、人をかき分け進んでいくが、お兄ちゃんは相変わらず”どこ吹く風”で無表情である。どこの兄弟でも弟の方がしっかり者が多いんだなあと関心してしまった。

富山も近くなり、トイレに立った私が、先ほどの兄弟の席の横を通過すると、弟は余程疲れたのか窓側の座席を倒しぐっすりと寝込んでいる。通路側のお兄ちゃんはマンガを読んでいるものの、眠っている弟を守っているかのごとく気を使っているのが感じ取れる。さすがお兄ちゃん！大したもんだ。この兄弟の微笑ましい光景に思わず胸が熱くなった。想像するに、この子たちも、不安の中での大冒険であっただろう。また、子供たちだけで電車に乗せた親御さんも心配だったことでしょう。でもこの兄弟のおかげで、人を思いやる行いは、本人だけでなく、それを見ている周りの人の心をも幸せな気分にしてくれることに気づかせて頂いた。この小さな兄弟には感謝です。

あ～、そう思った途端に、年甲斐もなく感情的に物を投げていた「心の狭い自分」をふと思い出し、恥ずかしくなってきた～。

ではまた、来月もお会いしましょう。
 今回も最後まで読んでいただき……、

あっぱれ
 ございました!!

